

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標(重点は○数字)・具体策				
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況		学業指導の充実とともに、自主学習の奨励と成果を上げた生徒の表彰を実施して学習意欲の向上を図った。	生徒だけでなく保護者や地域の意見を取り入れ、教育委員会と連携して学習指導や学校行事の運営について、学期ごとに反省しPDCAのサイクルを生かして改善策を講じる。	・適正な目標が掲げられ表彰形式などの目標を達成するべく具体的な取組がうかがえる。
① 自己有用感を高める教育課程を実施する。	B			
② 主体的に学習に取り組む態度を育成する。	B			
③ 信頼される学校・地域とともにある学校づくりを目指す。	B	体育祭や文化祭での役割を明確にして自己有用感が高まった。		
II 保護者や地域との連携に努める		学校だよりや学年だより、学校ホームページ等でより地域の発進力を高める一方、総合学習や学校行事で地域人材の積極的活用を図り成果が上がった。PTA活動では、保護者の参加率を向上させる必要がある。	魅力的なPTA活動の企画と実践を図るとともに、PTA組織を見直し保護者の負担感を軽減し生徒のための活動であることを実感できるよう工夫する。	・学校から発信する情報、特にHP更新のレスポンスには目を見張るものがある。 ・学校とPTA活動の連携は粘り強く努力を重ねることを望む。
① HPや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。	A			
② 地域人材・資源を生かし、地域の絆を深める活動を推進する。	B			
III 確かな学力の育成に努める。		「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を実践するために、ねらいの明示、議論したり意見交換したりする活動を多く取り入れ、学習の質の向上を図った。ICTの有効利用を推進しさらに探求的な学習の展開に力を注ぐ。	全国学調、とちぎっ子学力調査の結果から本校の課題を明確にして指導にあたる。学力向上専門員の協力を得て学力向上を図る。さらに個に応じた指導の充実を図る。	・学校内部だけでなく外部機関や外部情報を取り入れて質の向上に努めている。さらに全体的な底上げができればなおいっそう良いと思われる。
① 体験的な学習、問題解決的な学習を実践する。	B			
② 学びを深めるICT(情報通信技術)を積極的に活用する。	B			
IV 豊かな心の醸成に努める		人権講話の複数開催や生徒会行事での奉仕活動をとおして豊かな心の醸成に努めた。道徳の教科化に向けてさら良い授業づくりに努める。教育相談時間が十分にとれなかったので改善を図る。	道徳授業の改善に向けて講師を招いて研修を実施したが、次年度も継続して研修を深める。教育相談体制を見直し、定期的な実施を図る。	・「挨拶」が基本だと思うのが比較的よくできている。 ・道徳教育で可能性を見だしさらなるレベルアップを期待したい。
① 生徒会活動の活性化を図り、リーダーの育成、仲間づくりをすすめる。	A			
② チームでの指導を基本に、同一指導のもと豊かな心を養う。	B			
V 健やかな体の育成に努める。		校舎内外の安全管理・施設設備の整備に努めた。教科体育と運動部活動の連携を図り、効率的な体力づくりを実践した。栄養教諭の専門性を生かした食育に力を入れた。	新体力テストの結果を生かし、一人一人に応じた体力向上策を講じるとともに粘り強く運動に取り組む態度を育てる。校舎内外の安全点検については、様々な角度から見直し、安全管理に引き続き力を入れる。危機管理マニュアルの有効活用と見直しを図る。	・安全安心な環境づくりは大いに評価できる。 ・生徒や教職員の負担も考えて健康管理を最優先とし適度な運用を望む。
① 安全安心な教育環境を整え、心身ともに健康な生徒を育てる。	A			
② 体育運動や部活動において、目標に向かって努力する生徒を育てる。	B			